

# 湯の華だより

2019年2月 No.90



お正月の外湯風景「地蔵湯」

## 十二月定例会

(12月19日)

### 平成30年度豊岡市城崎町湯島財産区特別会計補正予算(第3号)

平成30年度豊岡市城崎町湯島財産区特別会計補正予算(第3号)は、賛成多数で可決しました。

補正予算の主な内容は、人事院勧告に伴う職員の給与の改定等により、一般管理費では、人件費を6万8千円増額し、平成29年度消費税確定により公課費を174万4千円減額されています。

ます。

浴場管理費では、賃金を70万円増額し、施設補修費として需用費修繕料を300万円増額し、「まんだら湯」空調設備更新のための設計費として委託料を50万円増額されています。

配湯源泉管理費では、人件費を8万7千円増額し、源泉天然ガス検査手数料として役務費を7万4千円増額されています。

なお、今回の補正予算の財源とするため、財産管理費の浴場整備基金積立金を268万5千円減額されています。

# しつもん

12月の定例会では、次のような一般質問を行いました。質問及び答弁の趣旨は区議会広報委員会で編さんされたものです。

## 財産区の役割について

### 問 大将議員

財産区の地域における役割分担について、観光協会等とどのように話されているのか。

台風24号の際、外湯を18時で営業終了された。15時過ぎには決定がされたがどのように判断

されたのか。

外湯は町民にとっては生活に欠かせず、また観光客にとっては観光資源です。その必要性や利便性を考慮すれば、危険度に応じた対応や事前の告知ができたのではないかと。

連携の取れた体制こそが、観光客の安全・安心のために必要



# 湯の華だより

な観光地としての要素と考える  
 がいかがですか。

## 【答】 中貝市長

台風24号は9月30日に非常に強い勢力を保ちながら、午後7時ごろに大阪府付近に上陸し、北東へ通過するという予想でした。豊岡市への影響は、午後6時ごろから数時間は雨量は強まる見込みでしたので、外湯を利用されるお客様の安全確保を最優先に考えて、また周知する時間を考慮した上で、午後6時で営業終了を判断しました。

今回の外湯の閉鎖という判断はあくまで危機管理上のことで、観光上の判断は一切入っておりません。平常時に観光協会等と閉湯について相談することは当然あると思いますが、時間が切迫している中での相談はかえって判断を鈍らせることになり、その時々最新の情報をもって、安全第一に判断をすることが危機管理の鉄則だと考えています。

## 外湯改修の際に生じる 問題解決と効果について

### 【問】 垣谷議員

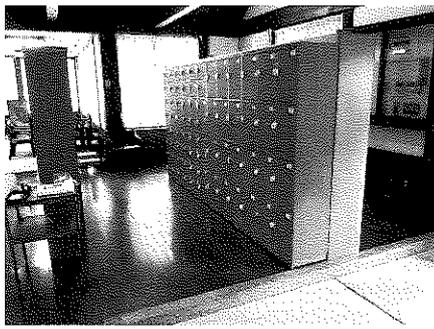
外湯の改修中及び自然災害による修繕工事中の休湯の際には、利用者、契約者には深いご理解とご協力を頂きました。今後の

工事休湯の計画には、全ての外湯が入浴出来る様な営業計画を基に遂行する十分な配慮が必要だと考えます。昨年に行った修理・改修工事を終えての効果、また問題点等が浮き彫りになったと思いますので、これからの計画はどの様に行われる方向ですか。

## 【答】 中貝市長

今後、外湯の大規模改修等により長期間休湯せざるを得ない時期が必ず訪れますので、できる限り利用者の方に不便をおかけしないように、地域性を考慮した臨時開湯など、休湯による影響が極力抑えられるように考えていきたいと思えます。

今年度施工した工事に對する効果ですが、特に下足箱を整備した「地藏湯」「鴻の湯」においては、下足の出し入れ等の手



整備された「鴻の湯」下足箱

間もなくなり、浴場職員の負担軽減になったと考えています。

## 市内に就労している外国人に市民入浴券並みの券を発行できないか。障害者浴槽の建設を

### 【問】 木下議員

市内のスーパー等に行くと、外国人が買い物に来ているのによく見かけます。港地区で漁業就労している若者外国人が城崎に来ているが、温泉を利用している気配がありません。就労確認の届けで市民入浴券並みの券を発行されたい。

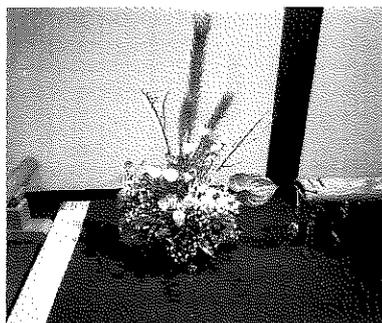
優待券を頂きながら、一回も利用できない区民がたくさんいます。この解決が難しいとは思いません。ぜひ特別養護老人ホーム等を視察されて、障害者浴槽を建設していただきたい。

### 【答】 中貝市長

就労者や技能実習生等の中長期在留資格のある方は、日本人と同様に住民基本台帳に登録されますので、現に城崎の旅館等で就労されている外国人の方は転入手続きをされ、住民入浴料で外湯を利用されています。同様に港地区の漁業就労者についても、転入手続きをされていますので、現在でも市民入浴料で入浴することは可能である状況

にあります。

障害者浴槽については、基本的な考え方には共感しますが、すぐに実現することは難しく、今後の大規模改修や建て替えの時期が来た時に、スペース面や財政面を考慮に入れつつ検討すべきものと考えています。



お正月用生け花「御所の湯」

## 委員会のつぎ

### 温泉 常任委員会

10月31日  
11月9日

### ▼浴場視察

「まんだら湯桶風呂改修工事」が完了したので、それぞれ、10月31日と11月9日に現地にて工事内容の確認と視察を行いました。



お正月の風景「まんだら湯」

### 総務財産 常任委員会

11月30日

### ▼チャージ機導入に係るアンケート結果について

平成30年10月から約1カ月間、城崎温泉課の窓口で、ICカードのチャージに来られた方を対象に行ったアンケート調査によると、約9割の方がチャージ機が必要、あれば便利という回答でした。この結果を踏まえて、機器を導入することでの費用対効果はどうか、豊岡市民の利用促進をターゲットにする施策を考えてはどうか、旧券や古い紙券の使用に関する取扱いをどうするのか等の問題があり、引き続き協議することとしました。

▼消費税増税に伴う入浴料の改定について

旅館組合では温泉使用料(人員)の値上げには反対の意見が

# 湯の華だより



お正月の風景「御所の湯」

多い。また、現在の料金単価が適正かどうか精査する必要がある。ただし温泉使用料（人員）については、実際に外湯に係る経費から試算すると、宿泊者一人当たり350円程度の使用料にしないと経費割れになってしまうのが現状である。一方で一般入浴料については、近隣施設と比較すると、これ以上の値上げは厳しい。

平成31年10月に予定されている消費税増税については転嫁する方向で検討したいが、これだけでは今後予定している浴場の大規模改修、配湯タンクの更新、埋設している配湯管の取替え、また人手不足解消のための浴場勤務者の賃金の見直し等の多くの課題に対応することは財政上困難である。従って、入浴料の根本的な見直しも含めて、引き続き協議することとしました。

## 平成30年度 年末年始 浴場別入浴者数調べ

(単位:人)

月日	年度	曜日	さとの湯	地蔵湯	柳湯	一の湯	御所の湯	まんだら湯	鴻の湯	合計	前年比
12月29日	30	土	994	1,208	628	1,663	1,864	626	1,168	8,151	92.8%
	29	金	1,169	1,021	720	1,892	2,052	697	1,235	8,786	101.1%
	28	木	1,029	1,069	714	2,141	1,935	688	1,117	8,693	
12月30日	30	日	1,100	1,325	754	2,144	2,181	669	1,455	9,628	100.6%
	29	土	1,144	1,263	669	2,035	2,283	697	1,477	9,568	100.3%
	28	金	1,186	1,195	724	2,087	2,288	638	1,424	9,542	
12月31日	30	月	850	1,044	465	1,634	1,701	464	1,114	7,272	100.1%
	29	日	1,048	1,042	524	1,519	1,642	357	1,133	7,265	97.5%
	28	土	966	1,119	440	1,548	1,778	437	1,167	7,455	
1月1日	30	火	801	1,000	582	1,531	1,631	560	1,131	7,236	89.9%
	29	月	1,019	1,090	640	1,711	1,752	582	1,257	8,051	96.5%
	28	日	1,082	1,101	636	1,786	1,848	639	1,253	8,345	
1月2日	30	水	1,114	1,160	594	1,781	2,004	621	1,334	8,608	88.0%
	29	火	1,297	1,242	752	1,988	2,300	749	1,459	9,787	101.5%
	28	月	1,085	1,205	716	2,041	2,275	770	1,550	9,642	
1月3日	30	木	975	1,332	650	1,972	1,906	619	1,343	8,797	97.7%
	29	水	1,182	1,260	679	1,904	2,135	610	1,234	9,004	94.5%
	28	火	1,034	1,223	611	2,189	2,319	832	1,325	9,533	
1月4日	30	金	1,118	休湯日	828	2,341	2,448	740	1,638	9,113	123.1%
	29	木	1,129	1,574	休湯日	2,488	休湯日	725	1,488	7,404	104.4%
	28	水	930	1,419	959	休湯日	2,340	休湯日	1,443	7,091	
1月5日	30	土	984	1,250	674	1,763	2,068	685	1,332	8,756	109.5%
	29	金	946	休湯日	741	1,928	2,370	738	1,277	8,000	139.5%
	28	木	815	984	休湯日	2,089	休湯日	650	1,197	5,735	
1月6日	30	日	735	852	410	1,265	1,454	392	958	6,066	70.1%
	29	土	966	1,170	764	1,838	1,951	663	1,297	8,649	147.9%
	28	金	744	休湯日	545	1,318	1,806	607	828	5,848	
合計	30		8,671	9,171	5,585	16,094	17,257	5,376	11,473	73,627	96.2%
	29		9,900	9,662	5,489	17,303	16,485	5,818	11,857	76,514	106.4%
	28		8,871	9,315	5,345	15,199	16,589	5,261	11,304	71,884	
前年比較			87.6%	94.9%	101.7%	93.0%	104.7%	92.4%	96.8%	96.2%	
前々年比較			97.7%	98.5%	104.5%	105.9%	104.0%	102.2%	101.5%	102.4%	

# 城崎地域の皆様へのお知らせ

## 温泉審議会

温泉審議会は、城崎温泉利用条例に基づき、温泉源保護のため、湯島、今津及び桃島区域において温泉を掘削、利用すること等について、市長が認否を決定するための諮問機関です。この温泉審議会委員は、区議会議員、財産区域内の住民及び知事推薦の8人で組織されています。

温泉を湧出させる目的以外でも、湯島、今津及び桃島地区で家屋の改築、新築等のため、地下2メートル以上の掘削等を行う場合は、事前に届け出が必要となります。詳しくは、豊岡市大交流課（電話21-9016）にお問い合わせください。

（事務局）

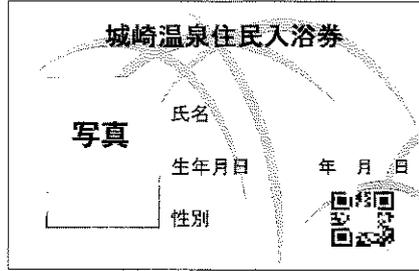
## 住民入浴券

住民入浴券は、市役所城崎庁舎内の城崎温泉課で販売しています。住民入浴券は完全電子化となり、ICカード方式に移行しています。

顔写真入りのカード式入浴券となっておりますので、カード作

成時にはご本人の顔写真が必要で、写真は、城崎温泉課事務所での撮影または写真を持ち込みいただきます。カード作成にご協力をお願いいたします。詳しくは、城崎温泉課（電話3210117）にお問い合わせください。

（事務局）



ICカード化された住民入浴券

## 優待入浴券

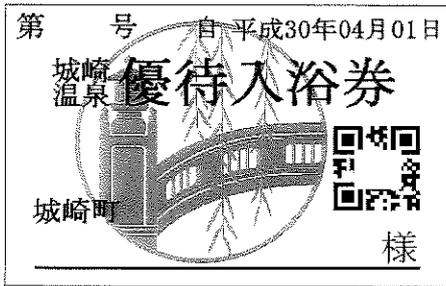
優待入浴券は、毎年4月1日において、引き続き6カ月以上合併前の城崎郡城崎町の区域内に住所を有する69歳以上の方に発行しています。

既に利用資格がある方については、昨年の3月に配布しまし

た優待入浴券を引き続き使用していただきます。今年の4月に新たに配布することはありませんので、紛失、破損等には十分ご注意ください。紛失、破損等により使用できなくなった場合は、城崎温泉課で再発行いたしますが、再発行に係る実費負担（500円）が必要です。

なお、今年の4月から新たに利用対象となる方については、3月末頃に郵送でお届けいたします。詳しくは、城崎温泉課（電話3210117）にお問い合わせください。

（事務局）



既に配布している優待入浴券

## 外湯でゆず湯

一年中でもっとも昼が短く、夜がいちばん長くなる冬至。古来より冬至にゆず湯に入浴すると、「一年中風邪をひかない」と言われます。血液の流れを良くする血行促進効果が高く、ひび・あかぎれを治し風邪の予防になると伝承されてきました。

今年度は冬至の日（12月22日）に各外湯でゆず湯を実施し、ゆずのさわやかな香りを満喫していただきました。

（事務局）



ゆず湯を楽しむ子ども達

## 区議会のいき

- 《10月》
- 31日 温泉常任委員会  
（まんだら湯視察）
- 《11月》
- 7日 温泉常任委員会  
（鴻の湯視察）
- 26日 区連絡会（議長・副議長・委員長会議）
- 30日 総務財産常任委員会
- 《12月》
- 19日 第17回城崎町湯島財産区議会定例会
- 《2月》
- 4日 広報委員会

## 広報委員会

湯の華だよりは、城崎町湯島財産区議会の情報、城崎町湯島財産区の予算、決算等、運営状況を住民の皆様にお知らせすることとして、定例会ごとに審議事項等を掲載し、発刊しています。

広報委員会は城崎町湯島財産区議会議員5名で構成し、ここに議長も加わり6名で編さん業務を行っています。今後も皆様に親しまれる広報誌にするよう努めていきます。

（広報委員）